



消防団出初式

1月4日、中野市消防団出初式を開催しました。当日は、消防団員が中野小学校から市民会館までを進行し、中央広場公園前において市長や団長から閲団を受けました。また、中央広場公園および市民会館駐車場では、はしご乗り保存会の皆さんによる伝統の「はしご乗り」が披露されました。その後、市民会館ホールで開催された式典では、各種表彰や消防団音楽隊による演奏などが行われ、団員は職責を自覚するとともに、防火・防災活動に対する意識を新たにしていました。



水槽付消防ポンプ自動車配置式

1月24日、岳南広域消防本部において水槽付消防ポンプ自動車の配置式を行いました。この車両は「圧縮空気泡消火システム」という特殊装置を搭載し、石鹼系を主成分とした消火薬剤と水、圧縮空気を混合させ、泡を放水し消火します。消火薬剤は石鹼系を主成分としており環境にも優しく、人体への悪影響はありません。

なお、今回の新型車両は山ノ内消防署に配備され、中野消防署と合わせて2台体制となります。



どんど焼き

市内各所で小正月の伝統行事「どんど焼き」が行われました。どんど焼きは、無病息災や五穀豊穡などを祈願するもので、「この火でだんごやもちを焼いて食べると病気にならない」などと言い伝えられています。当日は、しめ縄や門松、だるまなどを飾ったやぐらが作られ、やぐらに火がつけられると炎は勢いよく燃え上がり、会場に集まった皆さんからは大きな歓声が上がりました。

(1月11日、大熊地区「どんど焼き」の様子)



第50回 中山晋平記念音楽賞 優秀賞入選曲発表会

1月18日、市民会館ホールにおいて中山晋平先生の業績の顕彰と音楽文化を次世代に引き継ぐことを目的に、第50回中山晋平記念音楽賞優秀賞入選曲発表会を開催しました。

発表会では、県内外から応募のあった248曲の中から選ばれた入選曲の表彰を行ったほか、優秀賞に輝いた8曲を市内小中学校の合唱団が発表しました。また、童謡歌手「坂入姉妹」の記念公演を行い、晋平メロディーをはじめ四季の移ろいを童謡で歌うなど、二人の美しいハーモニーが会場を包みました。



新春走り初め大会

1月2日、すがすがしい新春の朝を走り1年の健康を祈ることを目的に、第9回中野市新春走り初め大会を開催しました。当日は、あいにくの雪となってしまいましたが、会場は参加者の皆さんで活気にあふれ、豊田故郷太鼓の演奏が響く中、豊田文化センター前を発着点とした約1.6kmのコースを全員が力強く駆け抜けていました。大会終了後にはキノコ汁の振る舞いが行われ、身も心も温まりながら新たな年の始まりを楽しみました。



共にいきいき市民のつどい

1月25日、中央公民館において男女共同参画社会づくり事業「共にいきいき市民のつどい」を開催しました。当日は、元NHKアナウンサーでラジオの声として活躍した村上信夫さんが、「ことばのビタミン」と題し、事例を通して言葉の大切さを話されました。村上さんは、乱暴な言葉がいかにかに人を傷つけ、優しい言葉が温かい関係をつくるかに気付くことが大切であり、皆さんも言葉の使い方に関心を持とうと語られました。